

過去 3 年間の事業実績と課題													
平成17年度			平成18年度			平成19年度			課 題				
【実績】 情報公開件数26件（うち任意の公開 7 件） ※任意の公開：旧町村時代の公文書の公開			【実績】 情報公開件数 29 件（うち任意の公開10件）			【実績】 情報公開件数27件（うち任意の公開19件）			事業の目的を達成するため「会議の公開制度」を含めた一体的整備を図る必要がある。				
達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値													
活動指標		公文書の公開請求等への対応件数											
効率指標		前年度決算額＞当該年度決算額 ⇒ 平成21年度は、コスト評価（経済性、効率性、効果性）を実施する。											
成果指標		情報公開件数 （個人情報開示請求件数＋情報公開請求件数＋公開する会議の参加者数）										単 位	
												件	
年 度	H 17		H 18		H 19		H 20		H 21		H 22		備 考
種 別	件数		件数		件数		件数		件数		件数		
目標値					27		30		40		40		
実績値	26		29		27								
達成率					100%								
備 考	条例未整備		条例未整備		条例未整備								

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局	部局名	総務部
	課室名	総務課

6. 前年度の事業評価					評価に関する視点	
事業の必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。		
理由	行政運営の透明性、市民との情報の共有化を図るうえで、個人情報の適切な管理、運用が求められているため。					
行政との関係	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	4	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。		
理由	行政が主体的に取り組むべき活動の一つであるため。					
手段の妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。		
理由	市民との情報の共有や、行政運営に関する透明性の確保等の目的を達成するために、市が開催する会議の公開等について取り組みを進めることが必要である。					
事業の効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。		
理由	情報公開制度の運用だけでなく、会議の公開制度を取り入れることで、さらなる事業効果が期待できる。					
事業の予算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	1	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。		
理由	予算措置の必要はない。					
体制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。		
理由	現状による体制が必要である。					
事業規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。		
理由	情報公開と個人情報保護制度の周知を図るとともに、附属機関等の会議の公開制度の制定に取り組み、情報公開事務の内容充実を図る必要がある。					
その他、特記事項		事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
20年度において、附属機関等の会議の公開制度を作成する予定。 職員と市民に制度の周知を図り、制度をうまく活用してもらおう。						

部長

課長

班長

担当者

内線 2023
E-mail @bungo-ohno.jp